

# 平成 23 年度 日本小児保健協会

## 第 1 回総会議事録

日時：平成 23 年 6 月 19 日（日）12：30～13：30

会場：ベルサール九段（東京）

### 《総会の成立》

平成 23 年 6 月 19 日（日）、ベルサール九段（東京）において、社員総数 221 名（理事 27 名、代議員 194 名）出席者数 35 名、うち委任状 148 通を加え社員の過半数以上に達したことを確認した上、議長に関口 進一郎氏を選出し、議事録署名人に加藤 則子（東京都）、並木 由美江（埼玉県）両氏を指名し開催した。

出席者：衛藤 隆（会長）・大西 文子（副会長）

平岩 幹男・岡田 知雄・小板橋 靖・高橋 孝雄（常任理事）

鈴木 順造（監事）加藤 忠明・福永 慶隆・小田 慈（理事）

並木 由美江・渡部 茂・安藤 朗子・鮎沢 衛・伊東 三吾・岩田 力・

立花 泰夫・山下 亮子・加藤 則子・牧本 優美・小島 幸司・榊原 雅弘・

加藤 孝・瀬島 斉・田原 卓浩・祖父江 育子・石黒 成人・坂口 祐助・

五十嵐 徹・関口 進一郎・堀田 法子・小松 和男・北條 博厚・荒川 浩

一・玉那覇 榮一（代議員）

オブザーバー：渡辺 博・桑原 健太郎・上石 晶子・菅原 美絵（幹事）

白木和夫・右田 俊・日暮 眞・高石 昌弘（名誉会員） 全体出席 43 名

### 報告事項

#### 1. 平成 22 年度人事・事業実施報告（平成 22 年度秋季総会ですでに報告のものは除く）

\*平成 22 年度人事・事業実施状況に関して庶務担当平岩常任理事より報告された。

##### (1) 会員数

	平成 22 年 4 月 1 日	平成 23 年 3 月 31 日
会 員	4,773 名 (正会員名 4,465 団体 308)	4,664 名 (正会員名 4,380 団体 284)
賛助会員	15 社	12 社

1) 平成 22 年度新入会員数（団体・賛助除く） 334 名

<職種別新入会者>

医師 80 名、歯科医師 9 名、保健師 16 名、助産師 8 名、看護師 73 名、栄養士 6 名、養護教諭 4 名、保育士 15 名、教職・研究職 81 名、その他 40 名、不明 2 名

2) 平成 22 年度退会会員数（団体・賛助除く） 419 名

<職種別退会者>

医師 125 名、歯科医師 11 名、保健師 36 名、助産師 18 名、看護師 71 名、栄養士 9 名、養護教諭 2 名、保育士 11 名、教職・研究職 43 名、その他 31 名、不明 62 名

**参考**

<職種別会員>

医師名 1,847、歯科医師 122 名、保健師 173 名、助産師 76 名、看護師 420 名、栄養士 44 名、養護教諭 21 名、保育士 40 名、教職・研究職 801 名、その他 216 名、不明 620 名 合計 4,380 名（平成 23 年 3 月 31 日現在）

(2) 人事について

1) 支部長交代

	(旧)	(新)
長崎県	松本 正(マツモト タダシ)	森内 浩幸(モリウチ ヒロユキ)
広島県	田中 義人(タナカ ヨシト)	岡崎 富男(オカザキ トモオ)

2) 訃報

・鈴木 榮(スズキ サカエ)	名誉会員	平成 22 年 6 月 25 日	享年 90 歳
・庄司 順一(ショウジ ジュンイチ)	支部長	平成 23 年 1 月 17 日	享年 62 歳
・神谷 齋(カニヤ ヒトシ)		平成 23 年 2 月 2 日	享年 71 歳

(3) 平成 22 年度総会

平成 22 年 9 月 17 日（金）、朱鷺メッセ（新潟）において秋季総会が開催された。社員総数 223 名（理事・監事 26 名・代議員 197 名）に対し、出席者数 56 名（うち委任状 129 通）であり、総会は成立した。議長に内山 聖会頭、議事録署名人に松石 豊次郎（福岡県）・渡辺 博（東京都）両氏を選任し、開会した。

下記の議案が承認された。

I：平成 22 年度事業報告

II：平成 22 年度修正予算案

III：平成 23 年度事業計画案

(4) 役員会等の開催

全国理事・支部長会 1 回、常任理事会 3 回、編集委員会 4 回、予防接種・感染症

委員会 2 回、栄養委員会 1 回、事故予防検討会 1 回、発育委員会 1 回、小児救急の社会的サポートに関する委員会 2 回、学校保健委員会 4 回、平成 22 年度幼児健康度調査委員会 3 回を開催し本協会の事業遂行上必要な案件を協議、決定し運営した。

(5) 日本小児保健学会の開催

第 57 回日本小児保健学会を開催。

会頭：内山 聖 教授（新潟大学大学院医歯学総合研究科小児科学分野）

日時：平成 22 年 9 月 16 日（木）・17 日（金）・18 日（土）

会場：朱鷺メッセ（新潟）

テーマ：「子ども達の未来を信じよう、そして、子ども達が夢を持てる社会に」

(6) 機関誌等の刊行

- ・「小児保健研究」70 巻 2 号まで発刊した。
- ・小児保健シリーズ「保育の問題をめぐって」発行
- ・70 巻 1 号より A4 判 表紙デザイン一新

(7) 市民公開セミナーの開催

日時：平成 23 年 1 月 16 日（日）

会場：名古屋市中小企業振興会館 7 階「メインホール」

テーマ：「児童虐待：子どもたちを守るために」

愛知県小児保健協会 共催

中日新聞社、名古屋市教育委員会 後援

・参加者 120 名

(8) 講演会等の開催

- 1) 判定技術養成講習会（DENVER II ーテンパー発達判定法ー）を学会時開催した。
- 2) 支部研修会開催助成
  - ・「第 28 回山梨小児保健学会」 山梨県
  - ・「愛知県小児保健協会学術研修会」 愛知県

(9) 協会活動

\*協会活動に関して大西副会長より報告された。

- 1) 編集委員会、予防接種・感染症委員会、発育委員会、小児救急の社会的サポートに関する委員会、学校保健委員会、栄養委員会、小児医療委員会（事故予防委員会）、平成 22 年度幼児健康度調査委員会、平成 22 年度乳幼児身体発育

調査小委員会、健やか親子 21 協議会第 4 課題のそれぞれが本協会の目的のために活動した。

- 2) 日本赤十字社を通じて義援金を拠出した。  
ニュージーランド地震 (50,000 円)、東日本大震災 (100,000 円)
- 3) 支部活動  
全国 47 支部は、研修会の開催、機関誌の発行等を行った。  
(平成 22 年度支部活動報告は、小児保健研究第 70 巻 4 号に掲載予定)

#### (10) 日本小児科連絡協議会

- 1) 日本小児科連絡協議会 2 回 (日本小児科学会・日本小児科医会との合同で開催)
- 2) 合同委員会
  - ・「子どもをタバコの害から守る」合同委員会 2 回
  - ・自動車乗車中の子どもの安全推進合同委員会 2 回
  - ・予防接種推進専門協議会 2 回
  - ・「子育て支援ハンドブック」編集委員会 1 回
  - ・「第 5 回子どもの食育を考えるフォーラムー子どもの食は大丈夫?ー」1 回

## 2. 日本小児保健協会学術集会開催計画

- (1) 第 58 回 (平成 23 年) 日本小児保健協会学術集会  
会頭: 大西 文子 教授 (日本赤十字豊田看護大学看護学部小児看護学)  
日程: 平成 23 年 9 月 1 日 (木) 2 日 (金) 3 日 (土)  
会場: 名古屋国際会議場  
テーマ: 「子どもの育ちを見守り、地域で暮らす子どもと家族にできること!」  
\*大西会頭より報告された。

- (2) 第 59 回 (平成 24 年) 日本小児保健協会学術集会  
会頭: 小田 慈 教授 (岡山大学大学院保健学研究科)  
日程: 平成 24 年 9 月 27 日 (木)、28 日 (金)、29 日 (土)  
会場: 岡山コンベンションセンター ママカリフォーラム  
\*小田会頭より報告された。

## 3. その他

\*各担当常任理事より報告された。

- (1) 平成 23 年度名誉会員の推薦 (庶務担当平岩常任理事より)  
地方協会会長は、平成 23 年 6 月末日までに事務局まで提出してください。

(2) 小児保健奨励賞 (協会活動担当大西副会長より)

- 1) 地方協会会長は、平成 23 年度実践活動助成候補者がありましたら、推薦状を会長宛平成 23 年 6 月末日までに事務局へ郵送してください。

(3) 平成 22 年度支部活動報告提出のお願い (編集担当小坂橋常任理事より)

地方協会会長は、支部活動報告を 400~600 字にまとめて、平成 23 年 6 月末日までに編集部へ提出してください。

(4) 第 28 回小児保健セミナー開催 (教育普及担当高橋常任理事より)

日時：平成 23 年 6 月 19 日 (日) 10:00 ~17:00

会場：ベルサール九段 (東京都千代田区九段北 1-8-10)

テーマ：「小児保健と関連領域」

(5) 滞納退会者について (庶務担当平岩常任理事より)

- \*年会費が 2 年以上滞納の場合、新年度 5 月末までに支払の確認ができない時は滞納退会者として、「小児保健研究」70 巻 4 号 (7 月号) に氏名を掲載する。

(6) 三者協委員会設置の件 (庶務担当平岩常任理事より)

- \*三者協各団体は、公益法人化にあたり障がいとなる為、既存の合同委員会 (7 委員会) を日本小児科学会・日本小児保健協会・日本小児科医会に振り分けることとした。

《日本小児科学会》

- ・食育フォーラム

《日本小児保健協会》

- ・「子どもをタバコの害から守る」合同委員会
- ・自動車乗車中の子どもの安全推進合同委員会
- ・「子育て支援ハンドブック」編集委員会 (本年の 9 月に出版予定)
- ・小児科と小児歯科の保健検討委員会

《日本小児科医会》

- ・小児保健法設立推進委員会
- ・子どもとメディア委員会

(7) 発達障害への対応委員会発足の件 (庶務担当平岩常任理事より)

- \*発達障害の問題が社会問題化しているため対応委員会が発足された。当委員会は、小児保健協会に所属する予定。

## 審議事項

### 1. 平成 22 年度 収支決算(案)ならびに監査報告 (P.7~23)

\*財務担当岡田常任理事より平成 22 年度収支決算(案)について報告され、引き続き監査については鈴木監事より報告されいずれも承認された。

### 2. 平成23年度事業計画 (案) (P.24~31)

\*平成 23 年度事業計画 (案) に関して平岩常任理事より提案され、承認された。

### 3. 平成23年度収支予算 (案) (P.33~36)

\*平成 23 年度収支予算 (案) に関して岡田常任理事より提案され、承認された。

### 4. 新定款(案)承認の件 (P.37~72)

\*来年の 4 月に公益法人化になるにあたり、内閣府から指導を受けながら新定款を作成中である。今後内閣府からの指導により細かな変更は発生する可能性はあるが、それを踏まえての新定款(案)が平岩常任理事より提案され、承認された。内閣府による、公益法人認定等委員会窓口相談に 6 月 21 日(火)に行く予定。

- ・支部の位置づけは従来と異なる。(例:埼玉県小児保健協会という名称は OK だが、日本小児保健協会埼玉県支部とはしない)
- ・支部への研究会助成金、還付金は従来通り支出される。
- ・理事の年齢制限を加えた(67歳)

### 5. 現行役員任期の件

\*公益法人化の途中で執行役員が交代すると諸般の困難を伴うため、予算執行と役員改選の時期を一致させることとなった。そのため、公益法人化の日程と合わせ、現行役員の任期は、平成 24 年度定時総会終了までとすることについて平岩常任理事より提案され、承認された。

### 6. 次期役員改選の件

\*公益法人化の途中で執行役員が交代すると諸般の困難を伴うため、予算執行と役員改選の時期を一致させることとなった。そのため、公益法人化の日程と合わせ、任期を平成 24 年度定時総会終了より 2 年間とすることについて平岩常任理事より提案され、承認された。

中央選挙管理委員会を設置し、委員長に渡辺 博氏が就任されている。

また、委員会委員の任期は現在 3 年であり、2011 年 3 月までの任期であったが、平成 24 年度定時総会終了まで延期することについて提案され、承認された。

## 7. 第60回日本小児保健協会学術集会 会頭について

\*下記の通り決定し、承認され、岡田 知雄会頭より挨拶がなされた。

第60回（平成25年度）日本小児保健協会学術集会

会頭：岡田 知雄 診療教授（日本大学医学部小児科学系小児科学分野）

日時：平成25年9月26日～28日

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター（予定）

### 質 疑

#### (1) 五十嵐 徹氏より（幹事）

新定款における庶務の幹事の役割について、今までは事務局の一部としての認識であったが今後、新定款ではどういった位置づけになるのかという質問があった。

平岩常任理事より、新定款では事務局における庶務幹事の特別な役割は規定していないと回答された。

#### (2) 渡部 茂氏より（代議員）

公益社団法人に移行するにあたって、積立資産をどのように使用するのかという質問があった。

平岩常任理事より、小児保健会館設立積立金など、実施しなくなった事業については、9月の総会で使用目的を変更し、公益目的の特定資産として活用していく予定であると回答された。

平成23年6月19日

特例社団法人 日本小児保健協会

議 長 関口 進一郎 ㊞

議事録署名人 加藤 則子 ㊞

議事録署名人 並木 由美江 ㊞